

世界河川会議の開催

受賞機関 岐阜県土木部河川課
愛知県土木部河川課
三重県土木部河川課

はじめに

21世紀を目前に控えた今日、自然環境と人間の環境がバランスした、自然共存型社会の実現が求められている。

また、世界各地において、環境と調和させながら川の利用を増進させるために様々な取り組みが行われており、世界に人々は、そのための経験と知恵を蓄積してきた。

このような状況の中、地球環境と調和した21世紀の河川と流域のあり方を議論し、川と流域の持続的発展のための経験と知識を共有し、川の恩恵を次世代に引き継ぐために世界河川会議を企画した。

会議の概要

平成9年11月19日から20日の2日間、岐阜市の長良川国際会議場において、「長良川から世界へ…人と川との共生をめざして」をテーマに、岐阜、愛知、三重の3県主催により開催し、国連と13ヵ国1,151名の多数の参加を得て、盛況裏に終了した。

会議は、基調講演、研究発表、オープンフォーラム(カンントリーレポート、全体討議)、ポスター発表、長良川宣言発表等の内容で実施した。

会議の成果

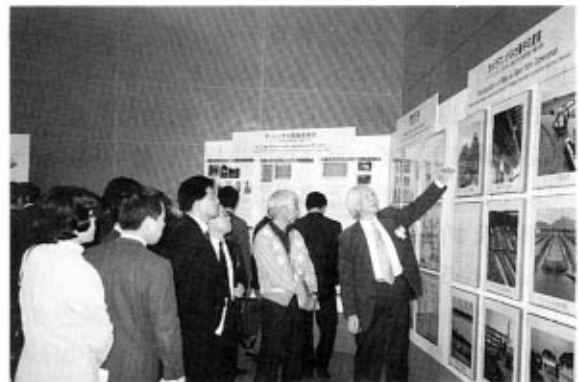
河川法が改正され、その目的に河川環境の整備と保全が位置づけられ、地域の意向を反映した河川整備計画制度が導入されたこの時期に、また、人と環境との調和の議論の舞台となった長良川の地で、このような世界規模の河川会議を開催できたことは大変意義深いものと考えている。

会議の成果としては、

- ①海外や国内の幅広い分野の川に関わる研究成果や取り組みを紹介したことにより、川に携わる多くの人々に世界各地の経験や知恵を共有することができたこと。
- ②現在、河川環境を考える上で課題となっている住民参加や生態系保全について、海外・国内の行政関係者



会議風景



パネル展示

により討議したことで、このことについての各国の考え方や取り組みの状況を知ることができたこと。

③会議のまとめとして「長良川宣言」を発表したことにより、自然共存型社会の実現が求められている中で、今後の河川流域の持続的発展のためにはどのようにすべきかを広くアピールできたこと。

等、数多くの成果があった。

おわりに

この会議開催に当たり、ご後援、ご協賛いただいた各関係機関に深く感謝申し上げますとともに、今後、この会議の成果が、各地域での川づくりに大いに活用されることを期待している。

広報事業「第2回富士山への手紙・絵コンクール」

受賞機関 富士宮市

建設省中部地方建設局富士砂防工事事務所

富士宮から全国へ「あなたの心を富士山へ」と題し、富士山に寄せる思いを手紙に、絵にして募集を呼びかけ、寄せられた作品の中から優秀賞を審査し、表彰式を実施した。

主催は富士宮市、同市教育委員会、(財)富士宮青年会議所、富士砂防工事事務所の4者で、富士山に対する思いを手紙や絵に表現することにより、富士山と地域をいつまでも守っていこうとする豊かな心を持った人と人との文化的な輪の広がりを目指すこと、また、人々の富士山への思いを「まちづくり」に生かすことを目的に平成8年度から始めている。

①募集の方法：募集要項を主催の4者で協議・作成し記者発表すると共に、市と事務所の広報誌とインターネットに掲載。また教育員会から富士山周辺の幼稚園・保育園、小中学校、高等学校等に呼びかけた。東海郵政局には応募要項の発送等で協賛、後援を得た。

②応募資格：手紙の部は小学生以上。絵の部は幼稚園児以上成人まで誰でも応募可とした。

③部門及び応募総数(表のとおり)：手紙4部門に計2,365通、絵5部門に計2,511点が寄せられた。

④審査方法：一次・二次審査を小中学校教諭のボランティアで実施。三次審査から主催4者の長が加わり、審査委員長は作家の村松友視氏(平成8年度の第一回は池田満寿夫氏)に依頼し、各部門毎に最優秀1点、優秀3点、佳作20点を選考した。

⑤表彰式・講演会：市民文化会館大ホールにおいて審査委員長の講演と合わせ盛大に実施し、マスコミにも大きく取り上げられた。

⑥作品展示：表彰式前の1週間、会場に応募作品の全てを多くのボランティアの協力を得て展示した。

⑦作品集の印刷・発行：入賞作品を冊子にして入賞者に贈呈、希望者には実費でお分けした。

応募者の中には遠くは北海道、鹿児島から、また海外に住む日本の方もあり、まだ富士山を見たことのない小中学生の未来への希望や人生との関わりなど、富士山への深い愛情といったようなものを感じ取ることができた。

平成10年度も第3回を7月1日～9月16日の募集期間で実施しているので、ぜひ皆さんも応募されてはいかがでしょうか。詳しくは富士宮市又は富士砂防工事事務所のホームページをご覧ください。



審査の様子 (中央が審査委員長 村松友視氏)



応募作品の展示



表 第2回富士山への手紙・絵コンクール応募総数

富士山への手紙			富士山の絵		
部門	H9年度	昨年度比	部門	H9年度	昨年度比
幼児			幼児	327	+ 75
小学生低学年	485	+ 913	小学生低学年	797	+ 471
小学生高学年	746		小学生高学年	804	
中学生	826	+ 366	中学生	509	+ 228
高校・成人	308	高校-255 成人+32	高校・成人	74	高校+30 成人+36 +66
計	2,365	+1,056	計	2,511	+ 840

ホームページアドレス

<http://www.wbs.ne.jp/bt/fujinomiya/>
<http://www2.shizuokanet.ne.jp/fujisabo/>